

地域の人たちのそばで

見守ってきた30年

民生・児童委員 古荘 律子さん（新栄温泉団地）

「皆さんが困っていないか、どう過ごしているかはいつも気になっていました」という古荘さん。民生・児童委員として約30年間、地域の子どもや高齢者を見守ってきた。普段は月1回程度、高齢者の家を訪問。話をして、変わったことがないかを確認している。「元気な顔を見ると安心します」

「まさか受章するとは思っていませんでした。ありがたいです」と喜びをにじませる。

台風のときには一軒一軒、訪問や電話で注意を促したり、被害がないかを確認したりする。誕生日の人がいればお祝いも欠かさない。できるだけ当日に訪問し、手作りのバースデーカードとお菓子などをプレゼント。

楽しんで活動が続けてこれたのは、夫・義之さんの支えがあったからだ。家庭のことが忙しくなり、委員を続けるか迷ったときも、夫が「自分も頑張るから」と背中を押してくれました。家族の理解がなければ委員は続けられません。褒章も夫と受けたものだと思います。息抜きは気軽に踊りを楽しむレクダンスやコーラスグループに参加すること。「毎週楽しみにしています。自分の時間を持つことも必要ですね」

「喜んでもらえる、少しは皆さんの役に立っているのかなと感じて私も嬉しいんです」
下校する子どもたちへの声掛けも行っている。「子どもたちが古荘さん、今日は遊べますか」と元気に家に来ます。絵を描いてくれることもあるんですよ」
そんな長年の活動が認められ、11月3日に発令された平成30年秋の褒章で藍綬褒章を受章。

活動を通して高齢者とも、子どもたちとも顔なじみになった。「いろいろな人と話をして、いろいろな経験ができる。それが楽しいです。そして楽しみながら、人に喜んでもらえる。そんな民生・児童委員という仕事はとてもいいものだと思います」
たくさんの人たちの身近な存在として、地域を見守り続けている。



①藍綬褒章の賞状 ②子どもたちを優しく見守ります ③誕生日の人にプレゼントしているバースデーカード



「民生・児童委員の仕事が好きです」と笑顔の古荘さん

あなたの周りの合志人を探しています
企画課 企画広報班（合志庁舎） ☎248-1813

あなたの周りにいるキラッと輝く合志人を紹介してください。
たくさんの紹介をお待ちしています。

和顔愛語



ことしもあとわずか。年始めに、ことし中にやりたいことの目標を立てたのですが、半分くらいしか達成できませんでした。悔しいので今月だけの目標を立てました。ずばり、暴飲暴食は適度に、です。

4月に広報担当になってからは締め切りに追われる毎日と、ありがたいことに、今まではなかったいろいろな人との出会いがありました。出会いとともに、広報担当として少しずつ成長していければと思っっています。来年も広報こうしをどうぞよろしくお願ひします。

ことしも残り少なくなり、慌ただしい年末が近づいてきました。本市が東洋経済新報社の「住みよさランキング2018」で安心度部門全国1位だったことは9月号でお知らせしたとおりですが、事件・事故がないわけではないです。お互いに行き届く限り注意したいものです。一方で、新年を迎えるワクワク感も抑えきれません。来年も、たくさんの方々の素晴らしい方々とお会いできますように！

小山

高野

人の動き

人口……62,104 (- 17)
世帯……24,327 (+ 9)

出生…55 (+ 8) 転入…180 (-31)
死亡…55 (+30) 転出…197 (+42)

※10月末現在 ()内は前月比

